

第3章

計画の基本的な方向性

1 基本理念

基本理念における有田町の視点

- 本町がめざす将来像との整合性と本町の未来を担う子どもたちの健全な成長に資する視点
- 子育ての第一義的な責任は保護者にあることが前提。その上で、親が本町で子どもを生み育てることに生きがいを感じ、楽しみながら子育てができるような環境づくりの視点
- 家族、地域、行政、企業等が、子育て家庭の「支え」となり、社会全体が子育てを温かく応援し、支え合っていくという視点



このような基本的な視点をもとに、基本理念を次のように設定します。

… 基本理念 …

子育て！！根っこから笑顔で支えあう有田町

～オール有田で子育てサポート～

2 基本目標

基本理念「子育て！！根っこから笑顔で支えあう有田町～オール有田で子育てサポート～」のもと、次の6つの基本目標を設定します。

目標1 子育て家庭への支援の充実

- 子育てに関する悩みや不安が多様化しており、すべての子育て世帯に対して開かれた相談体制や情報提供が必要
- 働く母親の増加により子育て支援のニーズは増加しているほか、ただ受け入れるだけでなく、子どもたちにとっても過ごしやすい保育環境を形成するなど、幼児教育・保育の質の向上が求められており対応が必要
- 地域のつながりを持たない子育て世帯が増加していることから、子育て世帯とそれを支える団体や地域、行政がつながれるネットワークの形成が必要
- 社会情勢の変化と合わせて経済的な支援を求める声が多いほか、一部の世帯では生活困窮などの状況も見られるため対応が必要

目標2 母子保健の継続的な取組による健康の増進

- 子どもや保護者の健康状態を保持するための健康づくりや母子保健事業の推進が必要
- 子どもの医療体制の充実を求める声が多く、いざという時にも対応できる小児医療体制の整備の検討が引き続き必要
- 子どもの健康維持に対して、栄養や食習慣に関する情報発信なども必要

目標3 子どもの健全育成のための教育環境の整備

- 子どもが「確かな生きる力」を身につけ、成長し自立できる教育環境の形成が必要
- 子どもたちが、心身ともに健全に育つことが重要であり、そのための教育環境や地域での環境をつくる必要がある

目標4

子育てと仕事の両立支援

- 男女ともに子育てと社会参画を両立できるまちづくりが必要
- 男女関わらず家事・育児に関われるよう、子育て世帯や企業の意識を醸成することが必要

目標5

多様な背景を抱える子どもや家庭への支援の充実

- 児童虐待に関しては、子ども家庭支援センターなど国を挙げた取り組みが進められており、それに合わせて早期発見・早期対応できる体制づくりが必要
- ひとり親家庭は様々な困難や課題を抱える傾向が高く、その相談先がないことも多いため、支援へ適切につなげる体制が必要
- 発達支援や医療的ケア児なども含め、療育の必要な子どもへの対応が必要
- 法律の整備なども進み、子どもの貧困を解消することが求められており、生活困窮世帯が抱える生活支援や子どもへの学習支援、保護者の就労支援、経済的な支援などが必要

目標6

安全・安心なまちづくりの推進

- 子どもたち、保護者が安全で安心して生活できる遊び場や生活空間が求められているため、その整備が必要
- 子どもを事故や犯罪等から守るための地域が一体となった連絡体制の整備など安心して過ごせる地域づくりが必要

3 施策体系

基本理念及び基本目標の達成に向け、本計画は以下の体系で施策を展開します。

子育てー！ー根っこから笑顔で支えあう有田町 ーオール有田で子育てサポートー	基本目標1 子育て家庭への支援の充実	1. 情報提供・相談体制の充実
		2. 幼児教育・保育の質の向上
		3. 子育て支援のネットワークづくり
		4. 経済的負担の軽減
	基本目標2 母子保健の継続的な取組による健康の増進	1. 子どもや母親の健康の確保
		2. 小児保健医療の充実
		3. 食育の推進
	基本目標3 子どもの健全育成のための教育環境の整備	1. 生きる力を育む教育の推進
		2. 子どもの健全育成
		3. 子どもを取り巻く健全な環境づくり
	基本目標4 子育てと仕事の両立支援	1. 働きやすい職場環境（ワーク・ライフ・バランス）の推進
		2. 家庭における男女共同参画の実現
	基本目標5 多様な背景を抱える子どもや家庭への支援の充実	1. 児童虐待防止対策の充実
		2. ひとり親家庭の自立支援の充実
		3. 障がい児施策の充実
		4. 子どもの貧困の解消
	基本目標6 安全・安心なまちづくりの推進	1. 子育てを支援する生活環境の整備
		2. 子どもの安全確保